

ハンドブック



財団法人 沖縄マリンレジャーセイフティービューロー

目 次

1 . 認定事業の概要	
OMS Bとは	1
認定事業について	2
著作権について	5
OMS Bメンバー資格	6
メンバー登録	7
メンバー資格更新	8
コース検定料 (講習料) 登録料	9
再発行	10
OMS Bとの関係	11
2 . コース基準	
シュノーケラーコース概要	12
シュノーケラーコース認定基準	13
シュノーケリングレスキューコース概要	16
シュノーケリングレスキューコース認定基準	17
シュノーケリングインストラクターコース概要	20
シュノーケリングインストラクター認定基準	22
シュノーケリングディレクターコース概要	26
シュノーケリングディレクター認定基準	27
シュノーケリング名誉ディレクター資格基準	31
3 . 各種書類	32

OMSBとは

1. 目的

- ・財団法人 沖縄マリンレジャーセイフティービューロー(以下「OMSB」という)は沖縄県の海域および内水域におけるスポーツ、レクリエーション等(以下「海域レジャー」という)に伴う事故を防止するため、海域レジャー環境の整備、海域レジャー提供業者に対する安全対策の指導および県民に対する安全意識啓蒙活動等を行うことにより、海域レジャーの健全な振興に寄与することを目的とする。

2. 事業概要

(1) 広報啓発事業

- ・海域レジャーの安全意識を多くの人に広げて行くために、「マリンレジャー安全フェア」や「マリンセイフティースクール」を開催する。

(2) 安全対策情報提供事業

- ・海域レジャーに関する安全対策のための情報や事故情報を分析して、海域レジャー関連事業者等賛助会員に提供する他、海域レジャーの安全対策に関する相談活動を実施する。

(3) 講習受託等事業

- ・沖縄県公安委員会等の委託を受けて、「水上安全条例」に基づく水難救助員やガイドダイバーに対する講習および海域調査等を実施する。

(4) 健全育成活動事業

- ・「海のマル優」制度の普及や海域レジャーに関する公共施設の整備助言等の活動を実施する。

(5) 海域環境保護活動支援事業

- ・オニヒトデの駆除等、安全で快適な海の環境を守るための活動を支援する。

(6) 調査企画事業

- ・海域レジャーに関するアンケートを行い、幅広い海域レジャーの安全対策に関する情報を集め、海域レジャー関連イベントの安全対策を企画する。

認定事業について

1. 認定事業を実施するに至った経緯

(1) 近年、観光客を中心にシュノーケリング事故が多発傾向にあることから創立10周年記念事業にシュノーケリング事故防止を中心としたマリンレジャーの安全対策事業を行うことを決定し、県警と過去5年間の県内におけるシュノーケリング事故を分析したところ下表に示すように

- ・発生、死亡事故とも観光客を中心に年々増加。
- ・シュノーケリング事故の過去5年間の平均は、水難事故全体の約22.4%、死亡事故は約26%を占めており、事故の行為別では圧倒的に多い。
- ・平成17年は、水難事故および死亡事故が大幅に減少している中で、観光客を中心としたシュノーケリング死亡事故が大幅に増加。

という状況にある。

シュノーケリング事故に占める観光客

	H13	H14	H15	H16	H17	平均
発生	14	8	12	14	19	13.4
観光客	9	7	7	8	13	8.8
%	64.3	87.5	58.3	57.1	68.4	65.7
死亡	7	6	11	12	9	9
観光客	4	5	6	7	7	5.8
%	57.1	83.3	54.5	58.3	77.8	64.4

(2) マリンレジャー業者向けの統一的な安全指導基準やシュノーケリングインストラクター認定制度がなく、野放し状態のためガイドダイバーの資格のない小型船舶免許所持者やバイト学生等が指導中または、シュノーケリング経験の浅い民宿経営者や送迎業者等がシュノーケルセットをレンタルし、自己流でシュノーケリングを始めた時期の事故も多く発生している。

(3) シュノーケリング事故原因を分析した結果、下表の5つのポイントが主な原因だと考えられることから、その対策として「シュノーケリング安全対策五原則」を策定した。

直接的な原因

浮力の確保がない
 単独で泳いでいる
 自己流でシュノーケリングを始めた
 飲酒后、体調不良時のシュノーケリング
 危険な海域や荒天時に泳ぐ

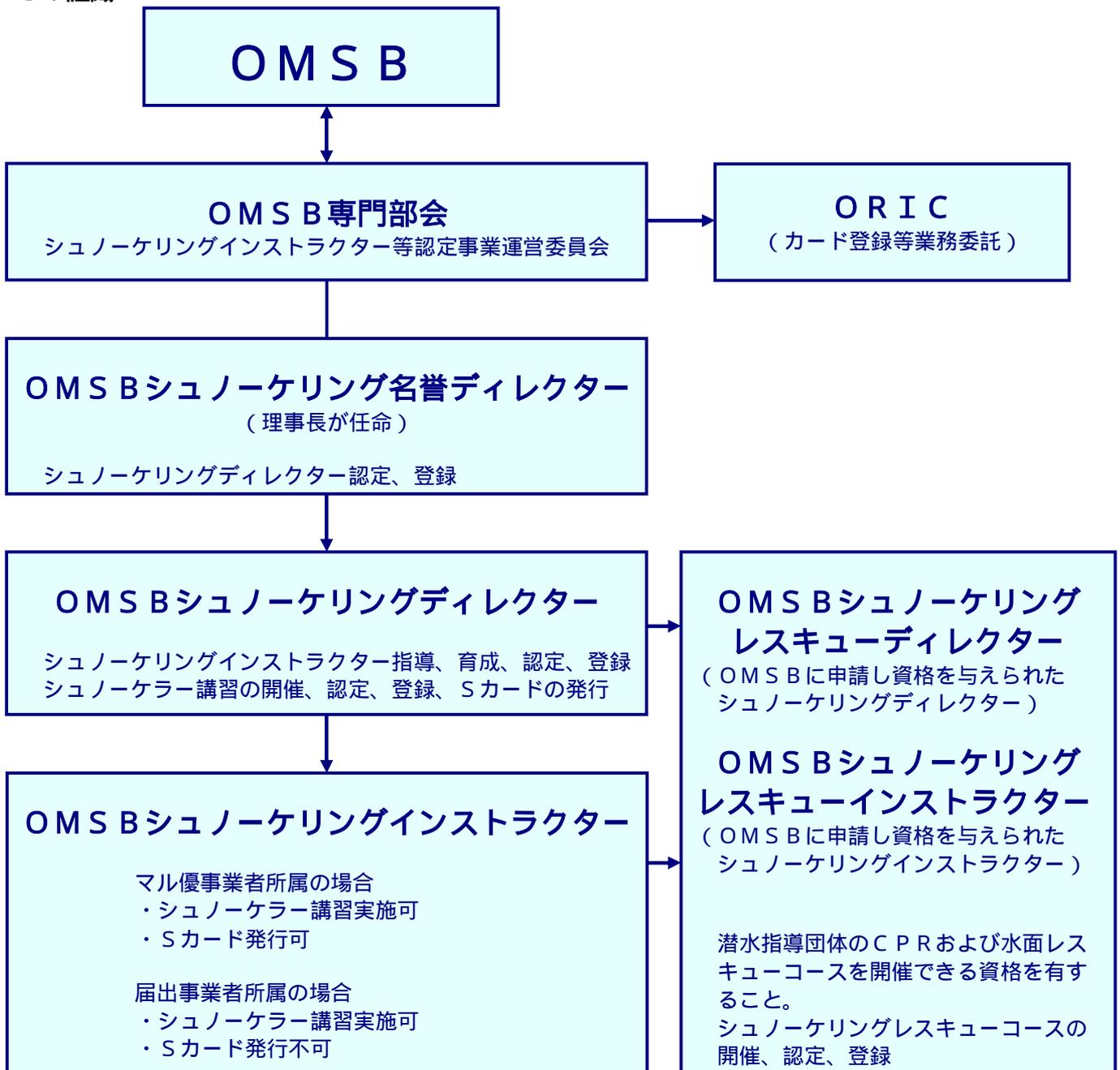
もたらされる結果

トラブル発生時にすぐに沈んでしまい対処できない
 トラブル発生時、救助を受けられる体制にない
 シュノーケルクリア、マスククリア等基本動作が取れず、パニック！
 トラブル発生確率が格段に上昇する
 離岸流や高波に流され岸に戻れなくなる

2. 事故防止対策

- (1) 事故分析結果に基づく「シュノーケリング安全対策五原則」を基に、統一的安全指導基準として策定した「シュノーケリング安全マニュアル」を利用者に周知徹底させること。
- (2) シュノーケリングインストラクターを指導、育成および、認定しこれらインストラクターが統一的安全指導基準（安全マニュアル）や技能講習に基づき、広く利用者にシュノーケリング安全指導（講習）を実施すること。

3. 組織



4. 認定事業の実施理念

- ・本事業はシュノーケリング事故防止のために、社会的公益事業として認知される事業にしなければならない。
- ・本事業は「シュノーケリング安全対策五原則」が沖縄県民、マリンレジャー事業者、観光客に周知される事業にしなければならない。
- ・本事業で定められる指導安全基準および、ルールは全県的に統一された基準、ルールとならなければならない。
- ・本事業はマリンレジャー業界を健全育成するものとならなければならない。
- ・本事業は沖縄観光に寄与する事業にしなければならない。

5. 認定事業における各組織のポジショニング

水上安全対策室（県警）

- ・県民および観光客に対してシュノーケリング安全マニュアルの遵守による事故防止を広報啓発し、且つ条例に基づくマリンレジャー事業者の指導、取締りを行う。

OMSB

- ・県警と連携し、多発しているシュノーケリング事故防止対策を確立し、マリンレジャー事業者の健全育成を図る。

運営委員会

- ・本事業の目的を達成するため、実施理念に基づき事業を統括し、適正に事業を推進する。

著作権について

1. 著作権

- ・ OMS Bにより作成されるすべての著作物に対する著作権はOMS Bが有する。従って搭載記事および内容を無断で転写、転載することを禁じる。

2. 商標、標章

- ・ OMS Bの商標、標章および知的所有権はOMS Bが有する。従って、搭載記事および内容を無断で転写、転載することを禁じる。

OMS Bメンバー資格

1. OMS Bメンバー

- ・OMS Bにはメンバーとして2つの種類がある。

シュノーケリングディレクター（名誉ディレクター含む）

シュノーケリングインストラクター

2. メンバー資格の有効期限

- ・メンバー資格の有効期限は、1月1日から12月末日とする。新規メンバー登録した場合は登録時から12月末日となる。
- ・メンバー資格更新条件を満たしていない、またOMS Bの指示する更新研修会に参加しないメンバーはメンバー資格を失効する。

3. 資格剥奪等の処置

- ・指導者として品位や人格等の適性を欠くこと、善良な顧客の安全性、良識あるOMS Bメンバー・OMS Bに対して著しく信用状況に悪影響を及ぼした場合、または可能性のあるとき「確認書」の記載内容に違反したときは、審議会およびシュノーケリング名誉ディレクター会議の決定により、注意や改善の指示、資格剥奪を含む処分を受ける場合がある。

4. 資格認定

(1) シュノーケリングディレクター

- ・OMS B専門部会（シュノーケリング認定事業運営委員会）で検定修了者の合否を検討し合格者に対してOMS B理事長名で認定証を交付する。
- ・検定修了者はOMS Bが指定する年会費と登録料の納付をもって資格が認定される。また、指導者として損害賠償保険への加入を義務とする。

(2) シュノーケリングインストラクター

- ・OMS B認定のシュノーケリングディレクターが最終検定の合否を検討し、合格者に対してOMS B理事長名で認定証を交付する。
- ・検定修了者はOMS Bが指定する年会費と登録料の納付をもって資格が認定される。また、指導者として損害賠償保険への加入を義務とする。

(3) シュノーケリングレスキューディレクター（レスキューインストラクター）

- ・所属する潜水指導団体のCPRと水面レスキューを指導する資格を有するOMS B認定のシュノーケリングディレクターまたはシュノーケリングインストラクターがOMS Bに申請し、資格を与えられた者に対してOMS B理事長名で認定証を交付する。

メンバー登録

1. 登録の流れ

(1) 登録希望者は検定に合格した後、以下の手続きを実施する。

OMS Bメンバー認定書発行申込書の提出

OMS Bメンバー登録票の提出

確認書提出

登録料の納付

年会費の納付

レスキューディレクターまたはレスキューインストラクターを申請する場合は、所属する潜水指導団体の有効なCPRと水面レスキューを指導する資格を証明する書類の提出

(2) OMS B専門部会(シュノーケリング認定事業運営委員会)で検討後、「更新シール」をメンバー宛に郵送する。

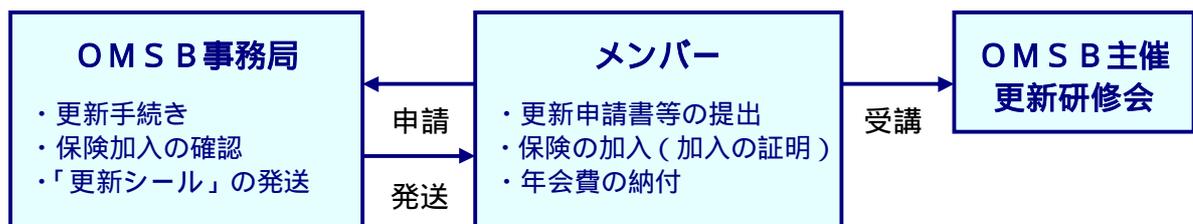
「更新シール」をディレクターカードまたはインストラクターカードに必ず張付けること。

メンバー資格更新

1. 更新の流れ

- (1) 更新を希望するOMSBメンバーは以下の条件を満たした後、更新研修会に参加する。
- 更新申請書の提出
 - 損害賠償保険の加入または、加入を証明する書類の提出
 - 有効なCPRと水面レスキュー資格を証明する書類の提出
 - 年会費の納付
 - レスキューディレクターまたはレスキューインストラクターを申請する場合は、所属する潜水指導団体の有効なCPRと水面レスキューを指導する資格を証明する書類の提出
- (2) OMSB専門部会（シュノーケリング認定事業運営委員会）で検討後、「更新シール」をメンバー宛に郵送する。

「更新シール」をディレクターカードまたはインストラクターカードに必ず張付けること。



2. 年会費

- (1) シュノーケリングディレクター
- ・ 5,000 円（更新手数料、活動費としてOMSBへ全額）
 - ・ 初回登録時、更新時に必要となる。
- (2) シュノーケリングインストラクター
- ・ 5,000 円（更新手数料、活動費としてOMSBへ全額）
 - ・ 初回登録時、更新時に必要となる。

コース検定料（講習料）登録料

1. ディレクター検定（2日間）

- ・検定料：30,000 円（担当名誉ディレクターへ全額）
- ・登録料：7,000 円（業務委託料：4,900 円、OMSB：2,100 円）

2. インストラクター最終検定（1日間）

（1）オープンウォーターインストラクター資格を持っている場合

- ・検定料：6,000 円（担当ディレクターへ全額）
- ・登録料：3,000 円（業務委託料：2,100 円、OMSB：900 円）

（2）オープンウォーターインストラクター資格を持っていない場合（学科講習料を含む）

- ・検定料：15,000 円（担当ディレクター：10,000 円、OMSB：5,000 円）
- ・登録料：3,000 円（業務委託料：2,100 円、OMSB：900 円）

3. シュノーケリングレスキュー講習（2日間）

- ・講習料：各ショップで設定
- ・登録料：3,000 円
（各ショップ：1,200 円、業務委託料：1,260 円、OMSB：540 円）

4. シュノーケラー講習（3時間）

- ・講習料：各ショップで設定
- ・登録料：2,000 円
（各ショップ：800 円、業務委託料：840 円、OMSB：360 円）

5. シュノーケリング安全マニュアル販売価格

- | | | | |
|------------------|-------|------------------|-------|
| ・賛助会員・・・・・・・・・・ | 80 円 | ・優良事業所・・・・・・・・・・ | 80 円 |
| ・届出事業所・・・・・・・・・・ | 100 円 | ・その他・・・・・・・・・・ | 100 円 |

販売価格は1部あたりの金額とする。（税込み）

発注は「シュノーケリング安全マニュアル」注文用紙を使用すること。

郵送料は購入者負担となる。

再発行

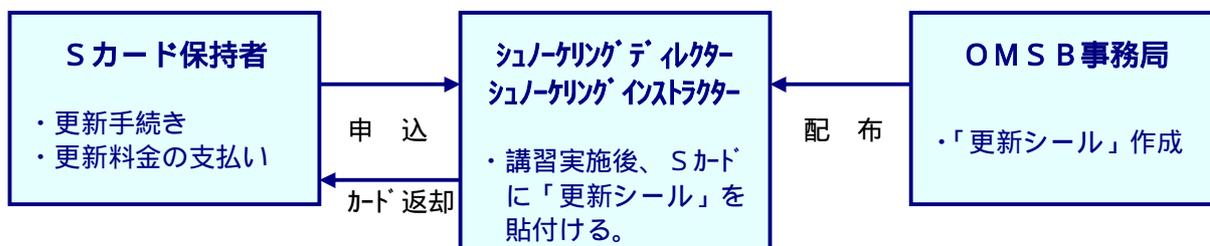
1. カードの紛失

- ・カード保持者がカードを紛失した場合には、OMSB事務局にて再発行することができる。
- ・再発行料金： 1,200円(業務委託料：840円、OMSB：360円)



2. Sカードの更新

- ・3年毎にOMSB認定のシュノーケリングディレクターまたはシュノーケリングインストラクターの更新講習を受け、更新することができる。
- ・3年以上のブランクがある場合も同様に更新講習を受けて更新を行った後、活動することができる。



- ・更新講習は基本的にはシュノーケラー講習に準じて実施すること。
ブランクがない場合の3年毎の更新や受講者レベルによってはシュノーケリングツアー中にチェックを行って更新講習としてもよい。

OMS Bとの関係

1. OMS Bが指定した潜水指導団体

- ・ BSAC、 JAPAN CMAS、 NASDS、 SSI、 NAUI、 PADI

2. OMS Bが指定した機関の CPR資格

- ・ OMS Bシュノーケリングレスキューコース
- ・ 日本赤十字社の水上安全救助員
- ・ OMS Bが指定した潜水指導団体の CPRコース

3. OMS Bが指定した機関の水面レスキュー資格

- ・ OMS Bシュノーケリングレスキューコース
- ・ 日本赤十字社の水上安全救助員
- ・ OMS Bが指定した潜水指導団体の水面レスキューコース

4. Sカード保持者と同等の資格

- ・ OMS Bが指定した潜水指導団体の Cカード保持者